

令和2年度上半期学校評価・学校生活・自己評価アンケートの結果と分析

令和2年10月6日
京都市立嵐山東小学校
校長 河野由佳

保護者の皆様にご協力をいただいている「アンケート」調査を学校評価の大切な指標として、保護者の皆様のご意見を本校教育に生かす取組を進めてまいりました。

今年度も、7月の夏休み前に「上半期アンケート」として、ご協力いただきました。結果をもとに、本校の教育活動の中で、継続発展すべきところ、改善すべきところや課題を明らかにし、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。

1. 結果

保護者

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
学校の教育方針や教育活動が学校だより・学年だより、ホームページなどを通して伝わっている。	33.3%	63.5%	3.2%	0.0%
教職員は熱意をもって教育活動に意欲的に取り組んでいる。	49.5%	47.8%	2.7%	0.0%
教職員に気軽に相談できる。	47.8%	48.9%	3.3%	0.0%
学習環境は整っている。	34.3%	54.9%	10.5%	0.3%
子ども達は、意欲的に学習に取り組み、学習したことを理解している。	21.7%	69.9%	8.0%	0.3%
子ども達は、自ら進んであいさつをすることができる。	18.5%	65.2%	15.7%	0.7%
子ども達の話を聞く姿勢が育つてきている。	13.5%	57.6%	25.7%	3.1%
子ども達は、きまりを守って生活している。	15.4%	73.4%	10.8%	0.3%
子ども達は、よい友だち関係を築いて楽しく過ごしている。	21.9%	70.5%	6.9%	0.7%
子ども達は、「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣ができている。	32.9%	62.6%	4.2%	0.3%
子どもと会話する時間を大切にしている。	33.2%	52.2%	12.8%	1.7%
学校から配られるお知らせのプリントなどは必ず見ている。	26.0%	64.9%	9.0%	0.0%
参観・懇談会やPTA活動に積極的に参加している。	41.1%	52.3%	6.6%	0.0%

児童

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
学校は楽しいですか。	67.9%	21.7%	8.3%	2.1%
なかよしの友だちはいますか。	85.8%	12.3%	1.4%	0.5%
友だちは大切にしていますか。	89.7%	9.2%	1.1%	0.0%
勉強(じゅぎょう)はわかりますか。	79.6%	19.6%	0.7%	0.0%
じゅぎょう中進んで発表していますか。	57.8%	33.1%	7.7%	1.4%
しゅくだいはしていますか。	41.1%	33.9%	20.2%	4.8%
自分から「おはよう」とあいさつしていますか。	85.1%	12.5%	2.1%	0.3%
学校のきまりややくそくはまもれていますか。	59.5%	28.2%	9.3%	3.1%
先生や友だちの話をしっかり聞けていますか。	64.9%	32.0%	3.1%	0.0%
家に帰ってから学校であつたことをよく話しますか。	70.9%	26.6%	2.4%	0.0%

教職員

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
子どもにとってわかりやすい授業を進めている。	11.8%	88.2%	0.0%	0.0%
子ども・保護者からの相談に適切に対応している。	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%
学習しやすい環境を常に整えている。	15.0%	80.0%	5.0%	0.0%
子どものよいところを見つけほめている。	23.8%	66.7%	9.5%	0.0%
一人一人の人権を大切にした教育活動をすすめている。	20.0%	75.0%	5.0%	0.0%
子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%
子どもは自ら進んであいさつをするようになってきている。	5.0%	85.0%	10.0%	0.0%
子どもは話を聞く姿勢が育ってきている。	8.7%	26.1%	65.2%	0.0%
子どもは学校のきまりや約束を守って生活している。	0.0%	81.8%	18.2%	0.0%
子どもは良い友だち関係を築いて楽しく過ごしている。	4.5%	81.8%	13.6%	0.0%

2. 分析

1) 学習面

- ・教職員は熱意をもって教育活動に意欲的に取り組んでいる。(保護者)

保護者アンケートの中で、「よくできている」の割合が最も高かった項目です。自由記述からは、

- 「今年度は、世界的な非常事態で教育現場にいらっしゃる先生方も刻々と変化する情勢への対応で大変だったことだと思います。臨時休校中には、家庭学習において教えながら宿題を見る時間が増えて負担を感じましたが、休校明けの時間割や宿題などは、子どもに過度の負担とならないように、よく配慮下さっているなあと感じます。」
- 「コロナのことがあつてから、先生方も大変だったと思います。ありがとうございます。」
- 「トラブルがあった際も、丁寧に対応していただきました。」
- 「学習面や生活面においては、よくみてくださいり、とても満足しています。」
- 「コロナ休校中も、毎週課題を持って来てくださいり、大変な中、ありがとうございます。」
- 「担任の先生が子どもの思いを全力で受けとめ、子どもに自信をつけるような関わりをいつもしてくださっています。子どもが先生に信頼と親しみをもっています。」
- 「授業のペースが早いのは、長い休校があったから仕方ないとは思うが、放課後にフォローの時間等を設けてほしい。」
- 「毎年のように学校生活も学習も進まないと思いますが、もう少し、子どものペースに合わせてもらえたたらと思います。」
- 「7時間目等、これまでの学習の遅れを取り戻す対策をしていただいているが、子どもが理解していくことができているのか不安があります。」

という意見がありました。

新型コロナウイルス感染症拡大という想定外の出来事や緊急事態宣言が発令されてから、学校現場においても様々な課題が表出することもありましたが、保護者や地域の方々には、いつも温かい言葉をいただき、また、学校の取組にご理解やご協力をいただいたことに感謝しております。

休校中の3か月間、この間に大切な学びや従来の経験ができなかったり、校外活動や社会科見学ができず自分の目で確かめることができなかったり、学校生活を十分に過ごすことができなかつたことは事実であり、非常に残念ではありましたが、前学年の復習に取り組み、今までの学びの成果をじっくりと確かめる機会であつたり、自学自習の方法を模索し、自ら計画を立てて過ごす経験であつたり、自ら学びに向かう姿勢の大切さを実感する、今までには得ることができなかつた経験をした機会、時間でもあつたと思います。

6月からは、休校期間の学びを確かめながら学校生活のスタートでした。これからも、学校としてできる限りの感染症拡大防止、行事の見直し、取組の変更などをしながらの学校生活ではありますが、子ども達にとって大切な一年間、精一杯の工夫をし、それぞれの学年でつけたい力を、「ぐんぐんタイム（放課後補習）」でフォローアップしながらしっかりとつけて、次年度につながるよう、取り組んでいきたいと考えています。

2) 生活面

- ・自分から「おはよう」とあいさつしていますか。(児童)
- ・子ども達は、自ら進んであいさつをすることができる。(保護者)

児童は「そう思う」と回答している割合は85.1%と高かったのですが、保護者は18.5%と児童に比べて低い値を示しています。保護者の自由記述からは、

●「今年度、地域委員をして気づいたことですが、あいさつができる子どもが少なくなったように思います。我が家でも、子どもに話をしていますが、特に低学年の子たちが気になるので、高学年が進んで見本となるように行動を心がけてほしいなと思います。」
という意見がありました。

今年度、新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底として『大きな声での会話を控える』『あいさつや給食時の発声は飛沫が生じないよう、大声での発生は控える』という取組に努めています。集団登校時も、集合場所では会話を控えるように声かけをしています。感染症拡大防止の意識から、従来のような、元気いっぱいあいさつする姿が見られない現状ですが、見守り隊の方や教職員の顔を見て、軽く会釈できる子もいます。大きな声でのあいさつは控えていますが、会釈などを通して、気持ちの良いあいさつを学校全体で心がけていきます。

3. 保護者の自由記述より

- ・習字の時、筆洗いにペットボトルがいるとのことで、買って用意いたしましたが、近年の地球変動防止のための、プラ削減の社会活動の逆をいっている気がして残念です。今後なるべくこういったことも子ども達に伝えていく時代だと思うので…。

⇒毛筆書写の筆の後片付けでは、ペットボトルや共同バケツ等を使用しています。ペットボトルは毛筆書写学習を初めて行う3年から6年まで、4年間継続して使用するようにしています。以前はビンを使用することもありましたが、落とした際に危険ですので、小学校においては、プラスチックボトルの使用が推奨されています。今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策で三密をさけるために、共同バケツの使用を控えましたが、毛筆書写学習に限らず、他教科の学習でも、地球環境に配慮した取組を工夫していきたいと思います。

他にも実現可能な要望に関しては検討し、改善していきたいと思います。たくさんのご意見ご感想をありがとうございました。

4. さいごに

日々の授業において子ども達の学習状況・成長を見取り、学力定着とともに一人一人の課題にも目を向け、教職員一丸となってその解決に精進していきます。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。